

共に、名品と語ろう。

美術館は、アーティストがともした作品の輝きを、未来へつないでいきます。
それは、皆さんの大切な財産だからです。

本展では、札幌芸術の森美術館学芸員イチオシの收藏品と、初公開となる新收藏品を多数展示。
いつもは野外にある彫刻作品も展示室にやってきました。

そして、作品を守るために、美術館に関わる人が何をしているのかもご紹介。
それによって、作品を楽しみ、大切にすることを、皆さんと共有していきます。



マルタ・パン（浮かぶ彫刻・札幌）
1986年 ポリエステル
*4~11月は、札幌芸術の森の池に常設
*写真は展示イメージです

芸森の名品Ⅱ

学芸員がつなぐ 名品のともしび

2018.3.10(土)→3.25(日) 9:45～17:00
(入館は16:30まで)

休館日/3.12(月)、19(月)

主催/札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)

後援/北海道、札幌市、札幌市教育委員会

観覧料/一般500(400)円、高校・大学生250(200)円、小・中学生100(80)円

*()内は20名以上の団体料金 *小学生未満無料
*障がい者手帳・療育手帳等をお持ちの方は、当日窓口でご掲示いただくと、ご本人と付き添いの方1名が無料になります。
*65歳以上の方は、400円(団体320円)となります。年齢の分かるものをお持ちください。
*再入場割引: 使用済みのチケットの半券の持参により当日料金から半額(1回限り有効)。

○まちなかコンサート(裏面参照)

○ギャラリーツアー 学芸員が語る 名品の魅力

第一回 3月11日(日) 14:00～ 「森の情景-絵画がつむぐ北海道」佐藤弥生
第二回 3月18日(日) 14:00～ 「彫刻をたどる-時の流れ、人の繋がり」坂本真性
第三回 3月21日(水・祝) 14:00～ 「人物と絵画-〈ひと〉のむこうに見えるもの」平井菊花
第四回 3月24日(土) 15:00～ 「野外彫刻がやってきた! /記憶としての建築」伊藤正と伊藤仁 梅村尚幸
*各回美術館展示室集合、30分程度、無料(ただし要観覧券、予約不要)

○美術作品収蔵庫ツアー

第一回 3月10日(土) 14:00～、第二回 3月25日(日) 14:00～
*各回美術館ロビー集合、30分程度、無料、予約不要(ただし希望者多数の場合順番待ちとなる可能性があります)



1 東郷青児《(女性像)》 1960年頃 油彩・キャンバス
2 舟越桂《雪の上の影》(部分) 2002年 楠に彩色・大理石 佐藤雅英撮影
3 砂澤ピッキ《神の舌》 1980年 木(ナラ) 佐藤雅英撮影
4 オーギュスト・ロダン《フロックコートを着たバルザック》 1891-92年 ブロンズ
5 片岡球子《静物》 1955年頃 紙本彩色
6 国松登《水人》 1971年 油彩・キャンバス

いくつもの
夜を越えて
みる景色



★プログラム

千本桜、じょんがら節、
即興演奏曲 (ほか) ※曲目等が変更になる場合がございます。

2018年10月オープン of 札幌市民交流プラザのイベントとして札幌市内10区をめぐる「まちなかコンサート」の第8弾は、札幌芸術の森美術館の「芸術の名品Ⅱ 学芸員がつなぐ 名品のともしび」展の会場を舞台に開催します。出演者は、様々なアーティストとの共演をはじめ、札幌を中心に活躍するサクソプレーヤーの小野健悟氏、日本伝統音楽の魅力を伝えるため国内外で活躍する津軽三味線奏者の忍弥氏、タップダンスをこよなく愛し弱冠12歳で数々のミュージシャンと共演する小杉龍画氏の3人。美術家たちがいくつもの夜を越えて生み出した作品が並び展示室に、同じいくつもの夜を越えて鍛錬を重ねてきた3人が集います。ジャンルを越え、美術作品とも共鳴するコンサートをどうぞお楽しみください。

2018.3.24(土) ①11:00 ~ ②13:30 ~
※各回50分ほどを予定

札幌芸術の森美術館 展示室

★要観覧券
入場料 (美術館入館料：一般500円、高校・大学生250円、小・中学生100円)

●主催・お問い合わせ：
公益財団法人 札幌市芸術文化財団
市民交流プラザ開設準備室 文化芸術交流センター事業課
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階
TEL 011-242-5800 (平日9:00 ~ 17:00)
公式 Web サイト <http://www.sapporo-community-plaza.jp/>
Twitter @Sapporocomplaza Facebook Sapporo.Community.Plaza

●共催：札幌芸術の森美術館
●後援：北海道 札幌市 札幌市教育委員会

★出演者



小野健悟 (サクソプレーヤー) *Kengo Ono*
北海道札幌市出身。中学生時代の吹奏楽部をきっかけにサクソスを始める。大学生時代に北大ジャズ研究会に所属し、ジャズを中心に活動の幅を広げる。「Sapporo City Jazz」をはじめ数々の大きなイベント、ステージへの参加、多くの著名アーティストと共演及びライブサポートを務める。各地での演奏活動の他、TV番組、企画等の楽曲作成、アレンジなど音楽制作活動も行っている。



忍弥 (津軽三味線奏者) *Niya*
北海道羽幌町焼尻島出身。7歳で津軽三味線を習い始め、三代目日本一佐藤俊彦師に弟子入りする。青森の「津軽三味線日本一決定戦」では2013年にはA級の部優勝。国内をはじめ、ニューヨーク、台湾、トルコ共和国、タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナムなど海外へ活躍の場を広げ、世界のあびとに日本伝統音楽の魅力を伝えるため精力的に活動。今は亡き師匠に代わり弟子の指導に尽力し、2012年からは札幌圏の高校へ音楽講師として指導するなど、音楽教育にも携わり津軽三味線の魅力を次世代に伝える。



小杉龍画 (タップダンサー) *Ryuga Kosugi*
北海道札幌市出身。2012年よりタップダンサー吉田つづら氏に師事。吉田つづらプロデュースの舞台ライブに多数出演。不破大輔プロデュース「チョビ涙」、大友良英ディレクターの札幌国際芸術祭2017札幌コレクティブオーケストラの参加、芸術祭関連企画タップダンスワークショップ講師を4回に渡り札幌資料館にて務める。東京では大友良英スペシャルビッグバンドとの共演。板橋文夫、小山彰太、他、数々のミュージシャンとの共演。ボランティアでの福祉活動も行っている。

2018年10月7日、北1条西1丁目にオープンする札幌市民交流プラザは、北海道初の多面舞台を備え、オペラ、バレエ、ミュージカル等にも対応する客席数2,302の「札幌文化芸術劇場 hitaru (ヒタル)」、「ひと・もの・こと」をつなぎ、札幌の文化芸術を支え育てる「札幌文化芸術交流センター SCARTS (スカーツ)」、仕事や暮らしに役立つ情報や札幌・北海道の魅力に関する情報を提供する「札幌市図書・情報館」の3施設からなる札幌市の複合文化施設です。



札幌芸術の森美術館 Sapporo Art Museum

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地
☎011-591-0090 <https://artpark.or.jp/>

公共交通機関をご利用の場合

地下鉄南北線「真駒内」駅のバス2番のりばから中央バス乗車、「芸術の森入口」下車 (所要時間約14分、約15分間隔で運行)。
※2番のりば発のバスはすべて「芸術の森入口」に停まります。

お車をご利用の場合

札幌市中心部から国道453号線を支笏湖方面に南下 (約30分)。
*駐車場 (650台収容) は1車回1回につき普通車500円、大型車1,200円。
*6枚綴りのお得な駐車回数券 (1,000円) を駐車場料金所にて販売しています。

